

# 近江 の 散歩

## 彦根中濠界限

福田 敏浩 (経済学部教授)



彦根は郷愁をそそる懐の深い土地である。とりわけお城近くの中濠界限は人を引き寄せる磁力を帯びたどこともなくつかしい処である。天命に導かれこの地に奉職して30年近くになる。出講した日には足の向くまま町中散策に興じてきたが、どのルートを採るにしても中濠界限を外したことはほとんどない。紅緑織りなす濠沿いの道から水面越しに我が学府を望みできる開放的景観は一幅の日本画であり、わずかに講堂の屋根を覗かせる背高の青垣はさながら鎮守の杜のようである。「杜の大学だね」と言った遠来の友の笑顔が思い出される。

濠端から南一带に広がる往時の職人街に足を踏み入れると風景は様変わりする。そこにはうだつの上がった棟割り長屋が軒を連ねる一筋の細長い通りがあり、ここかしこに素朴な石造りのみ仏を祭った小さなお堂が点在している。訪れる人は誰しも歩くほどに温もりのある祈りの気配を感じるであろう。ある夏の日の暮れなすむたそがれ時に品のよい家刀自が純白の花を供え、淡い灯をともし、あどけない孫娘と手を合わせる情景に行き合った折ほど心震える感動を覚えたことはない。彦根は我らの内なる原風景が今もなお息づく町である。



広報誌『しがだい』  
第31号  
読者アンケートで協力をお願い

広報誌『しがだい』をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。  
読者の皆様の声をより誌面に生かすため、率直なご意見ご感想をお聞かせ下さい。

なお、「読者アンケート」にご記入頂いたお客様の個人情報、今後の広報誌編集の参考にさせていただくためののみ使用し、他の目的には一切使用致しません。

ご回答はホームページからお願いします。

滋賀大学公式HP[<http://www.shiga-u.ac.jp/>]から「大学紹介」→「広報誌しがだい」